



令和5年9月議会が9月13日～10月11間で会期29日で開かれました。児嶋喜彦議員が会派を代表し、代表質問を行いました。代表質問では、産業振興、大規模災害時の対応、子育て支援、ICT教育等について問い質しました。また、小山悟議員が個人質問を行いました。



## 産業振興（企業立地）について

静岡市は、企業立地として利用できる土地が限られており、低利用の土地が点在しているため、まとまった土地として活用しにくい状況です。そのため企業に提供できる土地情報が少なく、具体的な立地に結びつきにくくなっています。

**Q** 企業立地の実現に向け、今後どのように企業立地用地を確保していきますか。

**A** (市長答弁) 過去の調査の再検証を行い、改めて候補地の掘り起こしを行うことに加え、新東名静岡スマートIC周辺や国1バイパス沿道の由比蒲原周辺など、これまで調査を行っていない地域の掘り起こしを行います。また、土地の点在により活用が進んでいない問題については、民間と連携しながら集約化の手法を検討していきます。

## 大規模災害時の対応について

大規模災害では、避難所での生活が長期間になり、飲料水や食料、毛布やマットなどの寝具、トイレ等の衛生関連、電源・通信環境・生活用水等、様々な備えが必要となります。長期間の停電に対しては、非常用電源が必要であり、照明だけでなく、医療ケアのための電源、スマホなどの通信機器の充電、夏場であれば扇風機や冷蔵庫、その他様々な電源が必要になってきます。

**Q** 避難所における非常用電源の配備状況は、どうなっていますか。

**A** 地域防災計画では、避難所の運営を行うため、「非常用発電機」を配備することとしており、避難所の照明やデジタル防災無線などの使用を目的に、ガソリンを燃料とした発電機を257ヶ所全ての避難所に1～4台配備しています。

一部の避難所では、平常時における施設運営用の電源として、蓄電池80台、太陽光発電22基が備わっていますが、これらは災害用の非常用電源としても活用でき、電気自動車・燃料電池自動車5台でも電源をカバーできます。

## 小中学校のICT教育について

志政会では、西奈小学校2年生のICTを使った授業を視察したところ、児童達も慣れている様子でした。特別教室や体育館、校庭でタブレット端末を使った授業も想定され、普通教室以外でのネットワーク環境が悪いケースもあるようです。

**Q** 端末のネットワーク環境の改善に対し、これまでの取組と今後の取組はどのようですか。

**A** 教室での通信状態の向上を図るため、令和3年度に児童生徒数の多い65校でインターネット回線を増強し、更に35校の回線の増強改善に着手しています。今後は、通信が届きにくい教室や運動場等における端末の利用を進めるため、学校に対し、モバイルルータの活用を進めていきます。

## 小山 悟

### 教職員の働き方改革について

**Q**：「学校における働き方改革新プラン」を踏まえた取組み状況はどのようになっていますか。

**A**：「充実期」の1年目にあたる令和5年度は、実践研究で確認された成果を他校に広げるとともに、アプリの活用による保護者との連絡手段の効率化等に取り組んでいます。また、PTA連絡協議会において、働き方改革への理解を求めるとともに、家庭・地域との連携強化にも取り組んでいます。令和6年度は、校務支援システムに教員の出退勤管理に関する機能を追加し、タイムマネジメントを意識した働き方改革を推進していきます。



# 志政会 だより

令和5年10月発行

第33号

発行/静岡市議会 志政会  
編集/志政会 広報部  
〒420-8602  
静岡市葵区追手町5番1号  
TEL 054-653-3412  
FAX 054-653-3412

## 教育現場視察



### 小学校特別教室を視察 ～安東小学校～

志政会では以前より、「小中学校の特別教室へのエアコン整備」を市に要望してきました。静岡市内の小中学校では令和2年度までに普通教室、特別支援教室及び学校図書館にエアコンが整備されましたが、特別教室に関しては未だに整備されていませんでした。

志政会は、難波市長とともに、暑い盛りである7月21日に安東小学校を訪問し、音楽室などの特別教室や体育館などを視察しました。エアコンのない特別教室の暑さは酷いものであり、教員や児童が熱中症にならないかと心配になるほどでした。学校現場からもエアコン設置の要望が出ましたが、今回の9月補正で、小中学校の特別教室にエアコンが整備されることとなりました。今年度から設計に入り、令和8年夏までにすべての整備を終える予定です。(詳細は2頁)



### 低学年児童のICT教育を視察 ～西奈小学校～



志政会では毎年教育現場視察を実施していますが、令和2年より特にICT教育について力を入れ、視察を行っています。静岡市では1人1台の端末を、小学3年生以上には令和3年11月までに、小学1・2年生には、令和4年7月に配布しています。

今年は9月14日に西奈小学校を訪れ、小学2年生の生活科・図工・音楽の授業を見学し、1人1台のノートパソコンを使い、様々な課題に取り組む様子を視察しました。皆楽しそうに授業を受けており、操作に困る様子などはあまり見受けられませんでした。ICT教育には教員のICTスキルが必要不可欠ですが、学校側が自主研修を行い、スキルアップを図っているとのことでした。



# 9月補正

## 41億1,487万円（債務負担行為36億9,781億円） 教育環境の充実、地域経済の活性化などに

### ■ 小中学校の特別教室へのエアコン整備

静岡市では、学校現場からの要望や酷暑が続く状況を踏まえ、音楽室や理科室等の特別教室についてもエアコンの整備を進めていきます。事業費は約70億円。まずは特別教室の利用率が高い中学校から進め、中学校については令和7年度中、小学校については令和8年夏までに整備を終える予定です。

【対象校数】 小学校 72校 440室・中学校 41校 411室 計 113校 851室  
【スケジュール】 ○設計 中学校 令和5~6年度 小学校 令和6年度  
○工事 中学校 令和6~7年度 小学校 令和7~8年度



### ■ 規格外農産物の学校給食への活用

本来廃棄される規格外の農作物等を活用し、市立小中学校の給食で提供していきます。規格外農産物の流通量にはムラがある一方、給食で活用するには安定した供給が必要なため、一定期間保存可能な加工品を2品目開発し、早ければ令和6年度より提供を開始します。

【規格外農産物の例】



大きさや色にムラがある枝豆

### ■ 企業用立地確保のための調査

静岡市は山間地が大半を占め、企業の進出できる大規模な土地が少ないため、企業の新規立地件数が少なく、面積も小さい。企業立地の実現のため、開発可能性がある土地を抽出し、道路への接続、上下水道のインフラや法規制の状況などを調査した上で、情報を公開するシステムを構築していきます。

【対象地域】 ①平成27~28年度に調査した地域  
新東名 新清水・清水いはら・新静岡インターチェンジ周辺  
東名清水インターチェンジ周辺、国道1号バイパス各インターチェンジ周辺  
②都市計画区域における調査未実施地域（追加調査）  
新東名静岡スマートインターチェンジ周辺、国道1号バイパス沿線 由比・蒲原周辺  
国道150号沿線小坂・用宗周辺、その他日本平など



### ■ 静岡市中心街の都市デザインの推進

JR 静岡駅北口から伸びる中心街を活性化するため、来年度末までに再開発の基本計画を作成します。まず、静岡駅、新静岡駅、呉服町・紺屋町・青葉通り周辺の商業オフィス街で「静岡らしさ」を表現した都市デザイン指針を作成し、これを踏まえ、呉服町・紺屋町、青葉通り周辺について具体的な再開発計画を作ります。

1. 都市デザイン指針の作成 対象地域：静岡都心地区（商業・業務ゾーン）
  2. 具体的な空間デザインの提案、基本計画の作成  
対象地域：青葉通り周辺エリア、呉服町・紺屋町周辺エリア
  3. JR 静岡駅北口地下広場改修工事の詳細設計  
対象地域：JR 静岡駅周辺エリア 北口（JR 静岡駅北口地下広場）
- 【実施期間】 令和5年12月~令和7年3月（令和7年3月公表予定）



葵区 呉服町

\*清水都心地区については、令和6年度から「まちなか再生指針」の策定に着手予定

## 難波市長と「政策情報交換会議」を行いました



志政会では、難波市長と定期的に「政策情報交換会議」を行っています。第2回の会議を8月22日に開催し、自然災害に対する危機管理体制の改善や経済対策について意見交換を行いました。

特に危機管理体制については、「初動全力」に向けた体制の見直しや減災に向けた取組み、復興段階における経済対策について意見が交わされました。市長からは、DXを活用した災害発生予測を推進していること、巴川については市で具体案を提案して県に依頼し、市でできることは市で実施していくことなどが話されました。

## 各種団体と「意見交換会」を行っています

志政会では毎年、来年度当初予算への政策提言を行うため、様々な団体と意見交換会を行っています。これらの意見・提言を集約し、11月に市長へ提言を行う予定です。



市内企業の皆さま

教職員の皆さま

障がい者協会の皆さま

中電変電所を視察

## 先進事例の視察を行いました

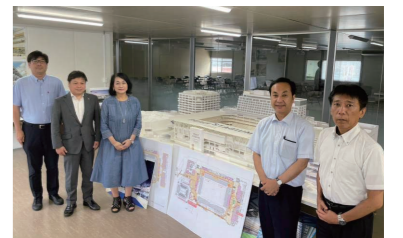


### ■ 観光 MaaS 先進事例 糸島市「よかまちみらいプロジェクト」

「よかまちみらいプロジェクト」は、昭和グループ関連会社（九州地区のトヨタ系列会社）が地域社会の発展にモビリティ事業を通して貢献することを目的に展開されています。①オンデマンドバス ②カーシェア ③電動レンタサイクル ④web 版交通総合案内が地元住民や観光客が手軽に利用できるシステムになっていました。年々これらの設置数や可動範囲が拡大されているということです。

### ■ スタジアム建設先進事例 長崎市「長崎スタジアムシティプロジェクト」

「長崎スタジアムシティプロジェクト」は、ジャパネットタカタが民間主導の地域創生モデルとして主導しています。スタジアムだけでなく、アリーナ・ホテル・オフィスビル・商業施設が併設するまちづくりを実践しています。経済波及効果として、年間850万人の来場と、工事や施設での雇用を生み出すということです。今後、病院の誘致や託児所の設置なども計画されています。



熊本市長と（左から3番目）

### ■ 防災対策先進事例 熊本市

静岡市の危機管理体制強化のため、熊本地震を経験した熊本市役所危機管理防災部にお話を伺いました。BCPや受援計画の策定はもちろんですが、平時から理解し訓練を重ねることで「初動全力」が実現できる、経験を重ね意識を高めていく必要があるとのことでした。これは行政（公助）だけでなく、共助にあたる地域や企業などとも連携し、それぞれの役割を明確にしながら進めていく必要があります。